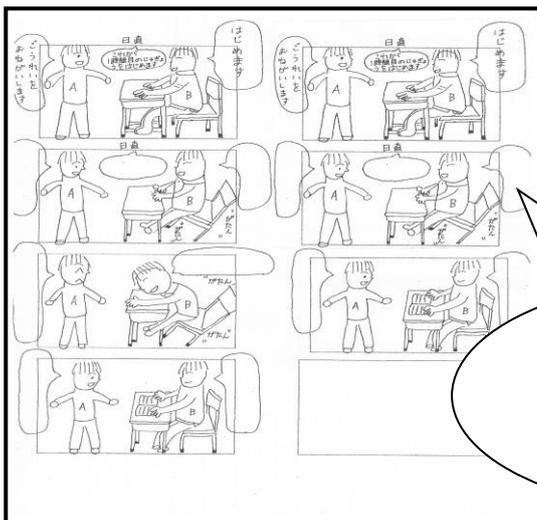


個別の配慮を必要とする子への支援(その4)

今回の15号は、前回の事例Bさんへの支援の続きとなります。対象の子供がどのようなことに困っていて、何故そのような状況になっているのかを周りの大人が理解してかかわることが大切です。「できた」経験を重ねることで、本人の自己肯定感が高まっていきます。そこから、自分で「やってみたい」という主体的な意欲につながっていくことを願っています。

一人一人が輝くための支援

☆Bさんが、意図せず友達を怒らせてしまい、トラブルになってしまったことに対して、どのような言葉がけや行動が正しかったのかを振り返り、先生がBさんの行動を視覚的に提示して、次につなげられるようにしました。



その2-1

クラスで実際にあった出来事を四コマ漫画にして、漫画の吹き出しに、その場面に合わせたセリフを書き入れています。

その時に、友達はどんな気持ちで言ったのかな？
自分は、どのように言えばよかったのかな？

Point

四コマ漫画により、読んで見て考えることができ、自分の姿や行動に気づくことができる！

その2-2

人形を使い、実際の場面を再現してあげることによって、どのようにすればよかったのかを一緒に確認しました。

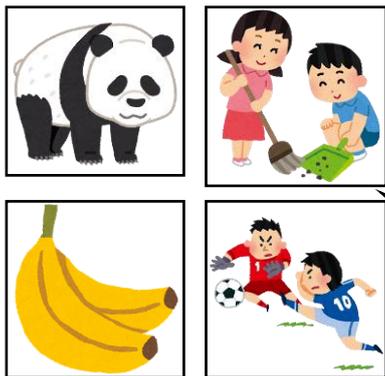


友達は、この時に〇〇したよね。
Bさんは、〇〇したよね。
友達は、この時に〇〇と言ったんだよね。

Point

一つ一つの言葉と行動を確認！
エピソードのイメージをつかむことができていることを確認！

☆様々な絵カードから感じ取り、自分の思いや考えを友達に伝える学習をしました。絵に描かれている内容について、その状況が友達に分かるように、必要なことを伝えるようにしました。



その3
 「何が(誰が)」「どうした」を基本にして、慣れてきたら、「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「どのように」「どう思ったか」へ広げるようにしました。(5W1H)

この絵は何を表しているのでしょうか？
 Bさんが知っている言葉で教えてください！

Point
 はじめは、興味がある内容の絵カードで挑戦！
 日常の場面や身近な物を使うと、イメージしやすい！

☆ルールを守って、友達と一緒に楽しむ体験を積ませるために、ゲームを行いました。すごろくゲームを通して、自分についての事柄や「こんな時どうする?」「昨日は何をした?」など、自分で考えて説明する学習をしました。



その4-1
 順番を待つことや友達の失敗を指摘しないことを守りながら、友達のよいところにも注目できるように声をかけることで、意識できるようにしました。

「隣の子が物を落としてしまったのを見たらどうする?」
 「昨日の放課後は、何をしました?」

Point
 1マスに1枚の付箋を使用し、タイムリーな内容を入れることで、興味がわき、意欲につながる!



「ケン・ケン・パ」をしながら、途中の紐をまたいで進み、折り返し地点でタッチをしてからスタート地点へ戻るゲーム!

その4-2
 お互いにタイムを競ったり、友達とチームを組んだりして、ゲームを行いました。そこでは、友達の行動に注目したり、協力したりしながら取り組めるようにしました。

友達が勝ったときには、拍手と言葉で「おめでとう」の気持ちを伝えよう!
 チームが勝てるように協力しよう!

Point
 ゲームの中で、友達を意識した言葉や行動がみられたら、すぐに「今の○○がいいね!」と声をかける!